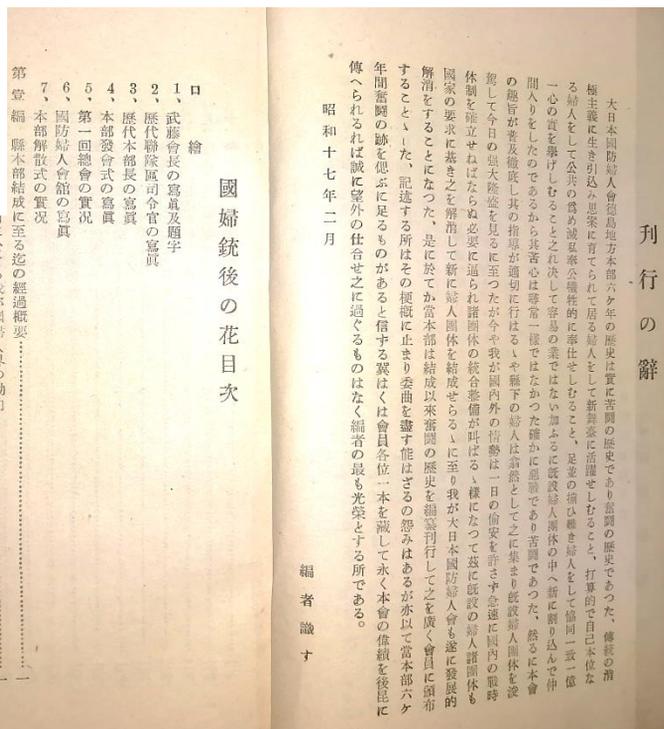


⑥『国婦 銃後の花』



刊行の辭

大日本国防婦人会徳島地方本部六ヶ年の歴史は實に苦闘の歴史であり奮闘の歴史であつた。傳統の精神主義に生き引込か思案に育てられて居る婦人をして新興事に活躍せしむること、打算的で自己便なる婦人をして公共の爲め誠私奉公犠牲的に奉仕せしむること、足並の揃ひ難き婦人をして協同一致一徹一心の實を挙げしむること之れ決して容易の業ではない加ふるに既設婦人団体の中へ新に創り込んで仲間入りをしたのであるから其苦心は尋常一様ではなかつた確かに困難であり苦闘であつた。然るに本會の趣旨が善及徹底し其の指掌が適切に行はるゝを頼下の婦人は當然として之に集まり既設婦人団体を凌駕して今日の福天隆盛を見るに至つたが今や我が国内外の情勢は一日の偷安を許さず急速に國內の戦時体制を確立せねばならぬ必要に逼られ諸団体の統合整備が叫ばるゝ様になつて茲に既設の婦人諸団体も國家の要求に基き之を解消して新に婦人団体を組成せらるゝに至り我が大日本国防婦人会も遂に發展の解消をすることになつた。是に於てか當本部は結成以來奮闘の歴史を編纂刊行して之を廣く會員に頒布することゝした。記述する所はその梗概に止まり委曲を盡す能はざるの怨みはあるが亦以て當本部六ヶ年間奮闘の誠を偲ぶに足るものがあると信する異はくは會員各位一本を讀して永く本會の偉績を後昆に傳へられるれば誠に望外の仕合せ之に過ぐるものはなく編者の最も光榮とする所である。

昭和十七年二月

編者識す

国婦 銃後の花 目次

- 口 繪
- 1、武藤會長の寫眞及題字
 - 2、歴代聯隊區司令官の寫眞
 - 3、歴代本部長の寫眞
 - 4、本部發會式の寫眞
 - 5、第一回總會の實況
 - 6、国防婦人会館の寫眞
 - 7、本部解散式の實況
- 第一章編 縣本階級に至る迄の經過概要……一
 即に於ける我が國婦人界の動向……二
 初婦人會の誕生……三
 日之宣言及其特色……四
 過程……五
 ける國婦運動の胎動……六
 部及分會の結成並其の育成……七
 結成並其の育成……八

⑥『国婦 銃後の花』

徳島地方本部編(1942年)。

徳島地方本部のあゆみをまとめたもの。国防婦人会解散前に刊行されたもので、京都地方本部『銃後の華』(③)とは、刊行事情が異なる。

付録の付図もあり(別途購入した)、当時の統計データとして注目される。

『徳島婦人国防』(④-3)とも関連するもので、滋賀県における国婦の活動と比較検討することができる。